



兵協連だより

HYOGO CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

2013 4



2月12日(火)、兵庫県民会館(神戸市中央区)にて、「ひょうご消費者セミナー2012」を開催。消費者庁 阿南久 長官の講演や寸劇、パネルディスカッションなど消費者問題について考えるひととき130名がつどいました。(関連ページP.4)



日本生協連 関西地連 事務局長

辻 祥行
(つじ・よしゆき)

人と人とのつながり、信頼で 社会的・公益的な活動の推進と 地域づくりへの参加を

兵庫県生協連の皆様には、日ごろより日本生協連関西地連の活動に積極的なご支援ご協力を賜り、あらためて感謝を申し上げます。

さて、私こと、1月21日より、関西地連事務局長に着任致しました辻祥行（つじよしゆき）でございます。兵庫県神戸市出身で、日本生協連入協以来、関西支所、商品本部（東京）、共同開発推進部（東京）、関西共同開発室と地元関西での勤務が最長ですが、長年、商品事業系に携わって来ましたので、組織・運営の職務では戸惑いも感じておりますが、商品事業の時とは違い、県連、会員生協の役職員、組合員との協同のつながり、取り組みの広さを体感でき、やりがいのある活動と思っております。

東日本大震災から3年目をむかえ、全国の会員生協が被災地の支援活動を継続していますが、次の災害に備えつつ、「災害を忘れない」、被災地の「今を知り伝える」、「生活再建支援」、「産

品の買い支え」等を通じ、「生協間の連帯・交流」が基盤となり、引き続き被災地の生協との取組み強化を進め、2020年ビジョン実現の第1期となる第12次中期計画の課題実現に向けた取組みを進めさせていただきます。

一方、政権交代による新たな政局に景気回復の期待が強くなっています。行く手には、14年、15年の2度に渡る「消費税増税」の他にTPP、少子高齢化等々、まだまだ私たちのふだんのくらしに対する不安の高まりも拭いきれません。

そんな中、「生協の組合員で、生協に入っていて、生協があつて、良かった」と言われるような存在になれるよう、生協運動や組合員活動を始めた事業活動を通じたお役立ちを組合員、消費者の要望実現に向け、兵庫県生協連、会員生協の皆様と力を合わせて行きたいと思っています。今後とも叱咤激励の程、よろしくお願い申し上げます。

CONTENTS

2. 想点	6. 協同組合のかけ橋
3. 「兵協連だより」通信員・広報担当者研修会 開催報告 ／兵庫JCC「協同組合研究・交流会」報告	7. 兵庫県のページ
4. 「ひょうご消費者セミナー2012」開催報告	8. 2013年度行事予定表(主要行事)／ フェニックス共済のお知らせ／ 県連日誌／編集後記
5. 単協通信 神戸市民生活協同組合／ 2013年度「兵協連だより」通信員紹介	

「読む人を意識した広報誌づくり」を学ぶ ～2012年度「兵協連だより」通信員・広報担当者研修会を開催～

2012
年度



朝日新聞大阪本社 鈴木史氏

3月21日(木)、県民会館にて「兵協連だより」通信員・広報担当者研修会を開催しました。この研修会は、「兵協連だより」通信員ならびに会員生協の広報担当者の広報活動などに役立てていただき、また各会員生協どうしの交流をはかるために毎年企画しています。

今回の研修会は、朝日新聞大阪本社 編集センター次長 鈴木史(ふみと)氏を講師に迎え、「効果的なキャッチコピーやタイトルのつけ方」と「デジタル時代の新聞編集について」をテーマに開催。9生協と2団体から19名が参加しました。

日頃、実務のうえであれこれ悩むことが多いものですが、今回の研修では、新聞の制作過程や読んでもらうための見出しの文字などについて講演いただき、会員生協発行の広報誌やチラシの一つひとつに直接コメントをいただきました。参加者からは、「読み手が読む気を起こしてもらえることにポイントを置いて作成したい」「新聞ができていく流れは、とても興味深かったです」「対象者(読み手)が誰なのか? 改めて検討したいと思いました」などの感想が寄せられました。日頃の実務での悩みに対してたくさんのヒントをいただき、また、質疑応答にも丁寧に対応いただき、実務に深く関わる研修会となりました。



熱心に講義に耳を傾ける参加者



新聞の作成過程を説明される講師

兵庫県協同組合連絡協議会(兵庫JCC)「協同組合研究・交流会」を開催

3月9日(土)、兵庫県内の協同組合4団体で組織する兵庫県協同組合連絡協議会(兵庫JCC)は、兵庫県水産会館(明石市)にて「2012年度 兵庫JCC協同組合研究・交流会」を開催。生協・JA(農協)・JF(漁協)・森林組合の組合員、役員約60人が参加しました。この交流会は、生産者と消費者が意見交換をすることで、お互いを理解し合い生産活動および消費行動に活かすことが目的です。

まず、参加者は「ひょうごのお魚ファンクラブ」シートクラブの料理教室を体験。旬のいかなごの釘煮といかなごのハンバーグ、自ら殻むきをしたカキを使った酢がき、明石だこサラダなどを、講習を受けながら調理しました。出来上がった釘煮は、炊きたての白ご飯に乗せ、他の料理とともに旬の味を楽しみました。

昼食後の講演では、明石浦漁業協同組合の^{えびすもと}戎本裕明 代表理事組合長が「漁業者は、ただ魚を獲るだけでなく、豊かな海を取り戻すために海底耕うんや植樹活動を行い、海を守るという認識を持っている。漁業の現状と役割を理解して、消費活動に活かしてほしい」と強調しました。

その後、生産者と消費者の意見交換会では、白熱した議論が交わされました。「最近魚は高いと感じるけれど、漁業者の苦勞を考えると高くても買おうと思いました」「正しい情報を知り、子どもたちに伝えていかなければならない」「シートクラブに参加し、魚料理をもっと身に付けたい」など、体験交流を通じて漁業・海・魚への理解を深めました。

兵庫JCCでは、今後も生産者と消費者の交流の場を作っていきたいと考えています。



分担して調理を楽しむ参加者
(3月9日、兵庫県水産会館にて)

「ひょうご消費者セミナー 2012」を開催

3月12日(火)、兵庫県民会館にて、消費者支援機構関西(KC's)、ひょうご消費者ネット、生活協同組合コープこうべ、兵庫県生協連の4者共催の「ひょうご消費者セミナー2012」を開催しました。このセミナーは、「集団的消費者被害救済制度」について理解を深めるとともに、幅広い世代の消費者に学びの中から発見した「やさしい暮らし方」を提案するもので、当日は130名が参加しました。



消費者庁 阿南 久 長官

冒頭、主催者4団体を代表し、生活協同組合コープこうべ常勤理事 山添令子氏が挨拶。続いて「消費者庁の現状と今後の課題」と題して、消費者庁長官 阿南久氏が講演。「兵庫県は、日本で一番先に「生活科学センター」ができました。「生活を科学する」という情熱が引き継がれています。消費者が自ら必要な知識を習得し、地域のなかで情報を共有し、よりよい社会づくりの主体となる「消費者市民社会」をめざしていきたいでしょう」とお話をいただきました。

また、消費者被害の現状や新訴訟制度への取り組みについて、消費者支援機構関西 常任理事の二之宮義人氏をコーディネーターとして、兵庫県生活科学総合センター 主幹兼相談調査課長 本多三洋子氏、兵庫県立大学環境人間学部環境人間学科村上りさ氏、ひょうご消費者ネット 理事 上田孝治氏の3名のパネリストによるパネルディスカッションが行われました。参加者からは、「適格消費者団体と訴訟制度の内容がよくわかりました」「世の中のトラブルの内容を知りました。適格消費者

団体の活動は、悪質事業者の抑制になると思った」「情報を知らせる」取り組みの大切さを実感しました」などの感想が寄せられ、充実した内容のセミナーとなりました。



「ちゃうかちゃん」のみなさんによる寸劇

「なでしこまつり」で事業を紹介

2月24日(日)、西区民センターなでしこホール内にて、「第27回なでしこまつり」が開催されました。こちらは西区連合婦人会が主催され、西区民センターが共催される催しです。各種同好会の方が歌や踊りを行う文化的催しで、神戸市民生協では例年参加しております。

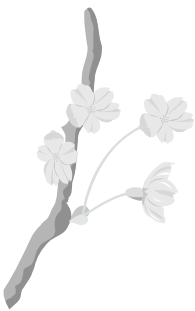


PR活動を行う生協職員

当日の会場は多くの出演者と参加者でにぎわいました。今回も医療共済・火災共済・交通災害共済・こども共済の掲載された総合パンフレットの配布をさせていただき、同時に会場を訪れる方にティッシュの配布を行うなど、積極的な広報活動を行いました。

イベントブースを訪れた方からは、「神戸市民生協の共済に加入していますよ」「医療共済への加入はどうしたらいいですか」といった様々なお声をいただきました。こういった事業所外での広報活動にも継続して取り組むことで、神戸市民生協のPR活動を強化し、もっと多くの市民の方々に神戸市民生協のことを知っていただけるようにがんばりたいと思います。

通信員 鹿田 裕子



● 2013年度「兵協連だより」通信員紹介 ●

2013年度の「兵協連だより」の通信員のみなさまです。今年度もよろしくお願ひします。

地域購買生協	
生活協同組合コープこうべ	神原 晶子 さん
佐曾利消費生活協同組合	後北 信子 さん
生活協同組合都市生活	紺本 直 さん
生活協同組合コープ自然派兵庫	古村 剛 さん
生活協同組合連合会コープ自然派事業連合	西本 亮 さん
西宮市職員生活協同組合	宮田 正樹 さん
兵庫県学校生活協同組合	池田 周一 さん
尼崎信用金庫職員生活協同組合	下山 正一 さん
大学生協	
神戸大学生生活協同組合	坂本 安弘 さん
関西学院大学生生活協同組合	池上 正寿 さん
神戸市外国語大学消費生活協同組合	衛藤 昭二 さん
甲南大学生生活協同組合	中谷 満子 さん
兵庫県立大学生生活協同組合	藤井 貴浩 さん
神戸薬科大学生活協同組合	大西 範和 さん
神戸親和女子大学生生活協同組合	今村 奈星 さん
大手前大学生生活協同組合	高橋健太郎 さん
園田学園女子大学生生活協同組合	藤井 貴浩 さん
甲南女子大学生生活協同組合	塩田 恵美 さん
神戸市立工業高等専門学校生活協同組合	藤本 淳平 さん
大学生協阪神事業連合	藤江 正俊 さん

医療生協	
神戸医療生活協同組合	吉崎 徹也 さん
尼崎医療生活協同組合	杉山 貴士 さん
阪神医療生活協同組合	小城 直樹 さん
兵庫医療生活協同組合	逢坂 裕 さん
宝塚医療生活協同組合	木下絵美子 さん
姫路医療生活協同組合	岡田 佐織 さん
ろっこう医療生活協同組合	古市 賢二 さん
たじま医療生活協同組合	春木 圭介 さん
ひまわり医療生活協同組合	酒井 成美 さん
共済生協	
神戸市民生活協同組合	鹿田 裕子 さん
尼崎市民共済生活協同組合	中村由起子 さん
姫路市民共済生活協同組合	山本 悠人 さん
西宮市民共済生活協同組合	白井 浩 さん
兵庫労働共済生活協同組合	鶴田 和彦 さん
生協以外の会員	
近畿労働金庫兵庫地区統括本部	森下 晃司 さん

*変更・継続のご報告をいただいていない会員生協につきましては、2012年度通信員を継続掲載しております。ご変更の場合は、お手数ですが兵庫県生協連までご連絡をお願いいたします。

協同組合のかけ橋

JF 南あわじ・ワカメ養殖青年会

“わあ、大きなっとうで〜”と 刈り取り作業で歓声 今年もワカメ養殖体験学習

JF南あわじ(小磯 富男組合長)のワカメ養殖は50年近い歴史があります。昭和50年代には1漁協(当時の丸山漁協)で7〜8千トンを生産する全国有数の産地でしたが、その後は韓国、中国からの輸入品に押され、生産量も約3分の1にまで落ち込んでしまいました。「このままではダメだ」、「特産地の灯を絶やすな」と危機感を募らせた若手生産者らは「ワカメ養殖を地域に密着したものに…」と、約20年前から地域の小学生を対象にワカメ養殖体験の学習を行い、海の豊かさや、素晴らしさを知ってもらう取り組みを始めました。これは毎年行なわれており、今年も南あわじ市立辰美小学校5年生の児童26名が、12月の種付けと沖張り作業体験に続き、2月25日(月)に同JF青年会の亀井一明さんら10人のメンバーによる指導のもと、鳴門海峡に程近い漁場で刈り取りをしたあと、加工場で湯通しから冷却、芯切り、塩絡め、脱水など一連の工程を体験しました。



刈り取りの時には「わあ、大きなっとうで〜」と、2ヶ月あまりで身の丈近くに成長したワカメを見た児童らから歓声が上がっていました。陸に上がれば90℃近い湯釜に原藻を送り込み、汗だくの子供達の姿がありました。児童らからは「船が揺れるので鎌を使うのが怖かった。でも馴れてきたら楽しかった」、「漁師さんのことが一寸だけ判った」、「自分たちが植えたワカメを食べるのが楽しみ」等の感想がありました。この体験学習はこれからも続きます。



大鳴門橋を望む漁場での作業



次々に釜へワカメを入れました。(中尾水産加工場にて)

JA グループ兵庫

「JAバンク兵庫 小学生の環境 チャレンジ発表大会」開催

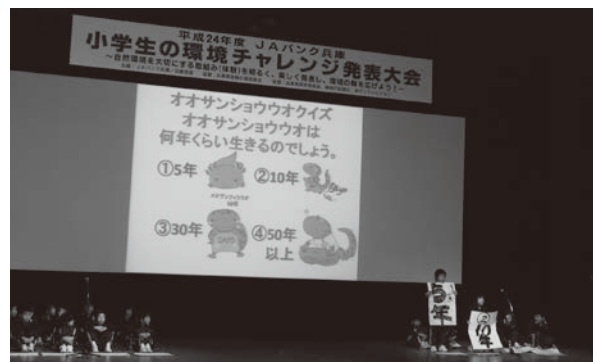
～県内10小学校の児童らが環境活動の成果を発表～

JAバンク兵庫は2月23日、「小学生の環境チャレンジ発表大会」を神戸市西区の流通科学大学「RYUKAホール」で開催しました。

今年度で5回目となる同大会は、JAバンク兵庫が取り組む「小学生の環境保全教育応援事業」の一環として行われたもので、同事業の趣旨に賛同し、環境活動実践に応募があった県内小学校331校の中から積極的な取り組みを行っている10校の、児童・保護者ら約600人が参加し、各小学校による環境活動体験発表が行われました。

今年度のコンセプトは「自然環境を大切にする取り組み(体験)を明るく、楽しく発表し、環境の輪を広げよう!」。参加した児童たちは、ホテルの飼育や里山の観察のほか、米づくりや地元特産品の栽培を通じた地域の方々との交流など幅広いテーマで、環境活動の取り組みを元気に発表しました。

小学校名	テーマ
三木市立別所小学校	わんぱく探検隊 ～ハープでつなぐ人と環境～
神戸市立池田小学校	自給自足にチャレンジ!～給食の材料を自分たちの手で～
神戸市立太山寺小学校	ホテルがすむ豊かな自然を守っていこう
高砂市立北浜小学校	守ろう、里山の自然 一本松の私たちの森
丹波市立西小学校	地球のためにリサイクル
朝来市立中川小学校	大切なおくりもの ～岩津ねぎ～
南あわじ市立松帆小学校	僕たちの誇り ～米作りに挑戦～
佐用町立上月小学校	身近な自然と環境を考えよう ～ホテルとオオサンショウウオがいる町～
宍粟市立波賀小学校	森に学び、森の恵みを感じる学校
加西市立和泉小学校	大発見! 石部の柱たんけんたい ～自然とふれあい、いろいろな生命をみつめよう～



元気に発表する児童たち



最近の消費生活相談事例

強引に買い取られた貴金属を取り戻したい ～クーリング・オフ制度が導入されました～

事例

実家の母親のところに貴金属の買取事業者がやってきて、強引に、アクセサリ類等の貴金属を買い取っていったようだ。事業者を持って帰られた貴金属を取り戻すことはできるのか。

【アドバイス】

自宅に訪問され、事業者から貴金属等を強引に買い取られる、訪問購入（いわゆる「押し買い」）の相談が、平成22年度から全国の消費生活センターに多数寄せられています。

訪問購入については、これまではクーリング・オフ制度はなく、後になってから返品を求めても「既に処分した」などと言われ、取り戻せないケースが多くを占めていました。

こうしたことを受け、平成24年8月、訪問購入についても規制がなされるよう特定商取引法が改正され、平成25年2月21日施行されました。

同法の改正により、買取事業者は、

- ・呼ばれもしないのに、家などを訪問し勧誘することを禁止。
- ・勧誘を始める前に、事業者名や来訪の目的を明らかにする。
- ・契約する意思がないと言われたら、再勧誘をしてはいけない。
- ・事実と違うことを言ったり、重要なことを言わない、人を怖がらせたり困らせたりしてはいけない。
- ・事業者の連絡先、物品の種類や価格、クーリング・オフ制度などについて記載した法定書面を交付する。

などの規制が適用されます。

また、クーリング・オフ制度が導入され、法定書面を受け取ってから8日間は、売主（消費者）から、無条件での契約解除が可能になりました。さらにクーリング・オフ期間中は、物品を引き渡す必要がなくなりました。仮に、引き渡した物品を訪問事業者が転売したとしても、売主（消費者）がクーリング・オフをすれば、転売先に物品返還を求めることができます。しかし、転売先が物品の返還に容易に応じてくれるかどうかは分かりません。契約は慎重に行うとともに、クーリング・オフ期間中は物品を引き渡さないほうが無難です。

なお、自動車（2輪を除く）、大型家電、家具、書籍、CD・DVD類、有価証券は、訪問購入の規制対象になりませんので、注意が必要です。

買い取りを頼むつもりがない時は、あいまいな返答はせずに、「契約しません」「売る物はありません」と、きっぱりと断りましょう。お困りの際は、最寄りの消費生活センターにお早めにご相談ください。

（兵庫県生活科学総合センター）

◆ 2013年度行事予定表(主要行事) ◆

*変更になる
場合があります。

	開催日	兵協連 主要行事/研修
2013年 4月	4/8(月)	兵協連 第6回理事会、第4回貸付審査会/第1回役員推薦委員会
5月	5/23(木)	兵協連 第2回役員推薦委員会
	5/27(月)	兵協連 監事会・監査
6月	6/3(月)	兵協連 第7回理事会
	6/21(金)	兵協連 第63回通常総会・第1回理事会
7月	7/5(金)	第91回国際協同組合デー・兵庫県記念大会
8月	8/5(月)	兵協連 第2回理事会、第1回貸付審査会
	8/7(水)	兵協連ピースアクション2013 広島被爆ピアノ平和コンサート
10月	10/7(月)	兵協連 第3回理事会、第2回貸付審査会
	10/10(木)	2013年度兵庫県生協大会
	10/28(月)	兵協連 監事会・上期監査
12月	12/2(月)	兵協連 第4回理事会、第3回貸付審査会
	1/11(土)	新春トップセミナー・賀詞交換会
2014年 1月	1/16~23間の5日間	兵協連第9回初級経理学校
	2/3(月)	兵協連 第5回理事会、第4回貸付審査会
2月	2/18(火)・19(水)	兵協連第12回税務・経理講習会

自然災害から「住まい」「家財」を守る

フェニックス共済

兵庫県住宅再建共済制度(フェニックス共済)は、災害発生時に被災した住宅の再建のために住宅所有者が相互に支え合う「住宅再建共済制度」と、早期の生活再建を目指して県民がお互いに助け合う「家財再建共済制度」により、自然災害への「備え」を充実させています。

確かな住まいの安心を手に入れませんか。

フェニックスサポーター はばタン



共助に感謝キャンペーン実施中!!

フェニックス共済を応援する県内の企業や各種団体にご協力いただき、「共助」の輪を広げる「共助に感謝キャンペーン」として、県立施設の各種割引や県特産品の抽選によるプレゼント、苗木や花の種プレゼントを実施しています。キャンペーンの詳細は下記までお問い合わせください。

住宅をお持ちの方の

住宅再建共済制度

年額5,000円で
最大600万円の給付!



住宅にお住まいの方の

家財再建共済制度

年額1,500円で
最大50万円の給付!

賃貸、借家にお住まいの方も
入れます!

複数年一括支払加入(3・5・10年)による割引
や住宅と家財の同時加入による割引があります。

お問い合わせ

(公財)兵庫県住宅再建共済基金 TEL 078-362-9400 (平日9:00~17:00)
http://web.pref.hyogo.jp/wd34/phoenixkyosai.html

フェニックス共済

検索

4月8日(月)

兵協連第6回理事会・
第4回貸付審査会
第1回役員推薦委員会

(県民会館 1201)

県連日誌

編集後記

今年の「兵協連だより」通信員・広報担当者研修は、朝日新聞の鈴木次長をお迎えし、ご講義いただきました(関連ページP3)。

読んでくださる方を思い浮かべながら①紙面を作る②レイアウトを作る③編集する・というこの大切さを何度も話されました。★みなさんに「読んでほしい」という気持ちを伝えるための「見出し」。キーワードを探し、あれこれ悩んで吟味しても、「初めに思いついたものが80%ベスト!」なんだそうです。やっぱり、第一印象が大切ということかしら…。新年度も「兵協連だより」をどうぞよろしくお願いたします。

(中尾)